



都田中だより

平成29年6月30日
第3号
横浜市立都田中学校
校長 石崎 一敏

「守・破・離」



先日の体育祭では、白熱した競技と力みなぎる演技を披露し、「都田中生、ここにあり」と言わんばかりの勇姿がみられました。さらに先んじて行われた各学年の行事である、修学旅行、鎌倉遠足、自然教室も成功裏に終わりました。自ら考え行動する主体的な態度、自分たちで決めたルールをしっかりと守ろうとする自立的な態度、一人ひとりが役割を確実に果たす態度、それらの三つがそろって成功につながったのだと思います。

さて、奈良学園大学学長の梶田 叡一先生は、剣道や茶道などをマスターしていくときの「守・破・離」という言葉を引用して、人間の学びや成長について次のように説明されておられます。

最初に『「守」という段階が必要である』「守」は師匠（先生）の言うことを受け止め、受け入れて、「これをやっごらん」と言われたら、素直にやってみるという段階のことだそうです。これがなければ、何事もものになりません。教科書に書いてあること、また先生に言われることを心にしっかり留めて決して忘れないということです。つまり、自らの力として習得するのです。

次に『「破」の段階に進むことが大切である』「破」は習得したことを自分なりに打ち破っていくということです。いつまでも教えられているばかりでは進歩しません。教えられたことを自分なりに整理し、自分で考え、判断し、新たな発見や独創的な表現をしたりしていかなければいけないということです。これは活用力にも通じるものでしょう。

そして『「離」の段階へと至る』「離」は一人旅です。自分の内側にためた知識や、それを活用する力を土台にして、新しいものを求めて歩み出ていくということです。習得・活用・探求は、「守・破・離」とほぼ重なっています。それらはまさに今求められている学力の中心核となっているものです。「破」も「離」も、根本は自ら学ぶということですが、その前提として、大事なことをマスターしているということがないと、空回りすることは理解できると思います。

このことを念頭に置いて、皆さんも、日々の授業を大切に、学ぶ楽しさや喜びを味わえるよう努力しましょう。

花いっぱい運動

6月6日（火）に美化委員会を中心に生徒・保護者のボランティアとともに「花いっぱい運動」が、行われました。いつも思うことですが、校内に花がいっぱい咲いていると、心も和み、落ち着いた気持ちになれますね。



感動の体育祭！ 赤組優勝！



6月10日(土)に第71回体育祭が実施されました。当日は朝から快晴で大変暑い中でしたが、生徒の皆さんは太陽の光を自らのエネルギーに変えるが如く、競技や演技をしました。学年練習や色別の応援練習、クラスでの「インディ・ジョーンズ(クラスの仲間の背中を渡るもの)」、「走れ! 引っ張れ! ヒップレード♪(綱取り)」、「青スポ70(2人3脚~7人8脚)」は、各クラスで作戦を立て、朝・昼の練習を積極的に行っていました。



「アドベンチャーレース」(タイヤを押ししたり、麻袋に足を入れてジャンプして進んだりする)では、途中のエバーマットを乗り越えることに苦戦をしていました。また、女子の800m、男子の1000mでは、選手がみんな全力で走る姿が印象的でした。学級対抗リレーは男女混合となり、工夫して走順を決めてきたことが伝わってきました。



特に、「ソーラン節」は入場前から3年生の気合いが入り、力強い踊りにひきつけられました。最後にタワーが立ち、終了のポーズの時は感動の嵐で包まれました。今年のスローガン「70 アニバーサリー~その身に刻め、70年の歴史~」そこに掲げたように、都田中の伝統と、生徒の皆さんが体育祭実行委員に協力し、チームで動く姿を見せてもらいました。生徒一人ひとりが気持ちを込めて全力で活動した体育祭は、大成功だったと思います。保護者や来賓の方々にお褒めのことばをたくさんいただきました。御声援、御協力ありがとうございました。



2年鎌倉遠足

5月31日(水)2年生の校外学習として鎌倉遠足に行ってきました。1年生の3学期から個人新聞づくりの事前学習活動を始め、2年生になって班別自主行動のコースを考えたり、実行委員が中心となって係活動を行い、準備をしてきました。遠足当日は、時間に間に合わないなどのうまくいかなかったことや反省することもありましたが、天候にも恵まれ、どの班も気持ちよく鎌倉の一日を楽しむことができました。今回の経験を来年の修学旅行に活かせると思います。お疲れ様でした。



修学旅行



5月30日（水）～6月1日（金）の修学旅行は、大きな病気やけが・トラブルなどがなく終わることができました。30日新横浜駅に朝6：50集合し出発。京都到着直後、班別行動を開始しました。各班とも事前に調べ上げたプラン通り、京都でしか味わうことのできないさまざまな体験学習をし、寺社をめぐる宿に向かいました。

31日の午前中は班ごとにタクシーでの京都散策をしました。金閣寺・龍安寺・銀閣寺・北野天満宮など事前計画に従って見学しました。新幹線で午後から広島へ移動し、広島城を見学しました。夕食の後は、被爆者である岸田弘子さんの話を聴きました。全員真剣に話に耳を傾け、原爆や戦争の悲惨さ、「平和」の尊さを改めて感じた様子でした。帰着後の感想文では生の声を聞くことで、戦争や原爆について深く考えることができたことがたくさん書かれていました。

最終日は、平和記念公園内にある「原爆の子の像」の前で平和集会を開きました。原爆投下の時間8：15の鐘と共に全員で黙とうをし、集会をしました。特に『HEIWAの鐘』の合唱は、

生徒も先生も皆で気持ちを一つに、心を込めて歌っている姿が印象的でした。また、「詩の群読」も心に響くものがありました。この集会は3年生の雰囲気象徴するととても良い集会でした。原爆ドームをバックに集合写真を撮った後、ボランティアガイドさんと共に平和公園散策をしました。さらに、資料館では熱心にメモを取る生徒も多く、平和学習への意識の高さを感じました。昼食は最後の見学場所となる「お好み物語」で食べた広島風のおいしいお好み焼きは心に残る味だったに違いありません。

移動も多く、ハードな3日間でしたが、生徒たちの行動は立派なものでした。たくさんの良い思い出が残りましたね。クラスの友達との絆がさらに深まったことでしょう。



H29 学校・家庭・地域連携事業実行委員会

6月15日（木）の17時より学校懇話会、18時より実行委員会が行われました。今年度の事業計画案、予算案が検討され、新役員・実行委員が決まりました。今後の大きな予定としては、「親と子と先生と地域のスポーツ大会」（グラウンドゴルフ）8月19日（土）と「小中学校連携で保護者と地域で行う地域清掃」9月12日（火）です。今回のグラウンドゴルフ大会も昨年同様、小学生・中学生・地域・保護者の方が交流できるように混合チーム（小学生・中学生・地域・保護者の方が一チームとなり協力して競技する）を計画しています。子どもたちの健全育成活動や情報交換をして、家庭や地域と学校が

つながることが大切であることが話されました。



高校の先生を迎えての進路学習!



6月16日(金)に5校の高等学校の先生をお招きし、3年生と保護者向けに各高等学校についてのお話をさせていただきました。初めて高等学校の先生から直接話を伺う生徒が多く、真剣に説明を聞く姿が見られました。港北高等学校の先生からは「自学力育成への取組問題を発見し解決するために必要な自ら主体的に学び続ける力を育成する」というお話をいただきました。横浜旭陵高等学校の先生からは「50分2連続授業で、ゆっくり、じっくり」。今年から「年次ごとの学びが中心。2年次から必修選択や自由選択科目の決定」についてのお話がありました。田奈高等学校の先生からはクリエイティブスクールについてや、すべての授業は30人以下で、もう一度頑張れる補修システムのお話をさせていただきました。駒澤大学高等学校の先生からは「私立と公立の違い、授業料、校則、建学の精神」「知ることすなわち人生が楽しくなる」「吹奏楽部顧問の名言、最後は体力勝負、健康でなければいい音は出ない」などのお話をさせていただきました。横浜商科大学高等学校の先生からは「安心して物事を任せることのできる信頼のおける人物を目指しましょう」「成績不振の生徒に対しては放課後や夏休みに補修や個別指導を行い、学力UPを図っています」というお話をさせていただきました。

先生方のお話を参考に、さまざまな進路の中から自分にあった進路を考えていかなければならないと感じました。

スクールカウンセラー来校日

7月のスクールカウンセラー来校日は、6日(木)、13日(木)です。時間は、11:00~17:00です。宮井里佳先生(校内1F相談室)が子育て、学習、不登校、いじめ、友人関係などの相談にのってくれます。直通電話は944-4245です。小中一貫型ですので都田小学校、都田西小学校でも相談できます。

【 7 月 行 事 予 定 表 】

1	土		17	月	海の日
2	日		18	火	三者面談
3	月	朝会 専門委員会	19	水	三者面談
4	火	生徒会小中交流会(都田西小)	20	木	1学期終業式
5	水	都筑区平和スピーチコンテスト 総下校	21	金	夏季休業 学習会
6	木		22	土	
7	金		23	日	
8	土		24	月	学習会
9	日		25	火	学習会
10	月	評議会	26	水	
11	火	総下校	27	木	
12	水	大掃除	28	金	
13	木	グラウンドゴルフ練習会 三者面談	29	土	
14	金	三者面談	30	日	
15	土		31	月	
16	日				